

高容量リチウムイオン二次電池正極材の材料設計

リチウムイオン二次電池の高容量化について基礎知識や設計方針、技術動向から
マテリアルズインフォマティクスを活用した開発効率化まで、研究事例を交えて解説！

1名分料金で
2人目無料

【LIVE配信】 セミナーURLはこちら→<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250544>

- ◆日時: 2025年5月19日(月) 13:00~16:00
- ◆本セミナーのアーカイブ配はございません。
- ◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から
・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】住友金属鉱山株式会社 技術本部
新居浜研究所 主任研究員 東間 崇洋氏

【習得できる知識】

- ・Li イオン二次電池正極活物質に関する基礎知識
- ・高容量正極材の設計指針

【必要な予備知識】

特に予備知識は必要ありません。
基礎から解説いたします。

【趣旨】リチウムイオン二次電池の高容量化は今後の蓄電池市場の展開において重要な要素である。本講演では、正極活物質の観点から高容量化に向けた材料設計指針を説明する。

また、マテリアルズ・インフォマティクスなどのデータ駆動型アプローチによる研究開発の効率化について、研究事例を交えて紹介する。

【プログラム】

- はじめに
 - 1-1. リチウムイオン二次電池市場と技術動向
 - 1-2. 高容量材料の必要性和正極活物質の開発方向性
- 正極活物質の基礎知識
 - 2-1. リチウムイオン二次電池の動作原理
 - 2-2. 正極活物質の種類と特徴
 - 2-3. 層状酸化物系正極活物質
- 高容量正極活物質の設計指針と開発事例
 - 3-1. 高容量化の設計方針_平衡論的観点と速度論的観点
 - 3-2. 技術的課題_容量特性の背反特性
(サイクル特性、安全性、出力特性、耐候性)との両立
 - 3-3. 開発効率化_計算科学、情報科学
(マテリアルズ・インフォマティクス)の活用
- まとめ

『正極材材料設計』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>